

Basic information

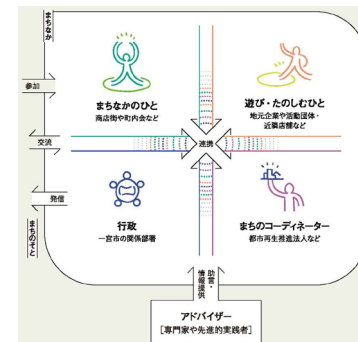
法人設立年月日	2005年2月2日
指定年月日	2022年3月18日
資本金等	無し
株主・構成団体等 (出資割合)	民間企業・団体・個人会員
職員数	20名

■法人の紹介

愛知県一宮市を中心とする地域社会に対して、広義のまちづくり活動を行い、またそうした活動を行う団体等を支援し、市民、行政、企業、諸団体が協働する地域づくり環境の醸成と、自己責任で活動する自主的的市民性の育成を図り、地域社会および地域市民の公益一般に寄与する活動をするを目的としています。

■官民連携による事業推進体制

エリアプラットフォームによる協議・調整・実施を踏まえて、都市再生推進法人による社会実験の展開を市が調整し、専門家の助言を受けつつ事業推進をしています。



Project

1 社会実験「ストリートチャレンジ」事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■未来デザインビジョン策定に向けた社会実験

一宮のシンボルロードである銀座通りと本町通り、その周辺の広場や公園などでいろんな活動を行える空間へと変えていくため、2021年度より社会実験を実施し、銀座通りの車両通行止め、滞在性・快適性の高い空間配置の検証、公共空間の活用の機会や担い手の創出を行っています。

2022年度は「ミライ・アクションA」としてイベント開催による社会実験を3日間実施し、また「ミライ・アクションB」として固定店舗等による公共路面の利活用、「ミライ・アクションC」としてストリートファニチャー設置と利活用による社会実験を実施しています。



■活動エリア（約80ha）

一宮駅から歩いて行ける範囲、約1km圏内を対象とし、その中でも本町通り、銀座通り、公園間を結ぶ高架下空間の3つの軸を主眼としています。



Hot topic

■社会実験「ミライ・アクションA」実施

28の運営者、36のプログラム、339団体の参加を得て、2022年10月7日から3日間にわたり、社会実験「ストリートチャレンジ ミライ・アクションA」が開催されました。

一宮駅西口広場から駅構内、東口広場を経て銀座通り、本町通り全域に加え、真清田神社境内一部、市営の公園など、中心市街地の広域を会場とし、1万8千人規模の来街者を迎えました。



2 「一宮まちなか未来会議」事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■エリアプラットフォームによる協議・調整・実施へ

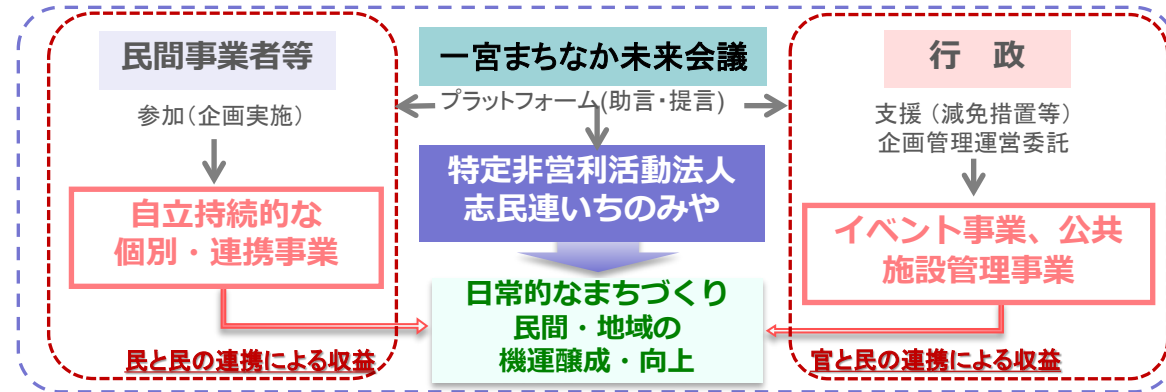
まちなかで実現したい未来のすがたを創るため、ビジョンや仕組みを考えていくエリアプラットフォーム“一宮まちなか未来会議”が2022年6月27日に設立されました。まちなかの将来像をつくる未来ビジョンの策定及び策定に資する活動や、まちなかの課題解決のための実践的活動、会員間の情報共有や交流、連携支援をおこなっていきます。



市民活動支援センター運営やまちづくり社会実験の企画運営、エリアプラットフォーム参画等の官民事業連携と日常の活気を取り戻すため自立・持続的なまちづくり活動を推進。

1. 事業方針

地域価値向上、交流機会創出のため、公共空間等活用諸事業と民間事業者等発掘育成により自立・持続的な活性化を図る
※平成14年2月2日設立



2. 組織形態

特定非営利活動法人(資本金なし(出資/民間企業・団体・個人会員))
※令和4年3月に都市再生推進法人に指定。

3. エリアマネジメントの要素*

A.まちづくりルール(地域共有ビジョン・方針、中心市街地整備事業等の合意形成) B.イベント(マルシェ、芸術・文化・教育、物販・飲食事業(オープンカフェ含む)) C.情報発信(情報発信拠点、メーリングリスト・SNS等) D.一 E.公共施設管理(指定管理以外) F.民間施設の公的利活用による地域の魅力・価値、利便の増進(その他(コミュニティ施設運営))

4. 主な収益事業*

- イベント事業 社会実験の企画運営、自主事業運営
七夕まつりの一部運営
- 公共施設管理 市民活動センター運営
- 民間施設の公的利用 カフェ・多目的交流空地運営



ウォーカブル社会実験「ストリートチャレンジ2022」

5. 市・民間事業者等からの支援と保有資産の状況

(1)市・民間事業者等からの支援の状況		市区町村			民間事業者等			
		人的	物的	金銭	人的	物的	金銭	
職員数	常勤1名	×	-	×	○	-	○	
	嘱託・臨時社員・パート・アルバイト等19名	-	-	×	-	-	○	
主な事業	ソフト事業	イベント事業(社会実験)	-	×	○	-	○	○
		イベント事業(自主事業)	-	×	×	-	○	○
		民間施設の公的利用事業	-	×	×	-	○	○
	ハード事業	公共施設管理事業(ソフト含む)	-	○	○	-	×	×
	非収益事業	イベント事業支援	-	×	○	-	○	○
(2)保有資産の状況(土地建物賃貸)		com-cafe三八屋・一宮ブルワリー・プリンスアレイ						

6. 主な効果

自律的で持続的な活力の形成

イベントや対話を実施するとともに実施する民間事業者等の発掘と育成による
自主・持続的な地域活力の形成

7. 今後の活動と事業推進上の課題

従来のまちづくり活動に加え、新たに社会実験事業等の行政との直接的な連携により、市内で初めての推進法人として民間をけん引する。

《事業推進上の課題》

社会実験を中心とした官民連携事業に専従できるスタッフ育成と自主事業スキームの見直しのため、資源の再構築や新たな収益源と担い手探索が喫緊の課題。



ウォーカーブル社会実験「ストリートチャレンジ2022」